

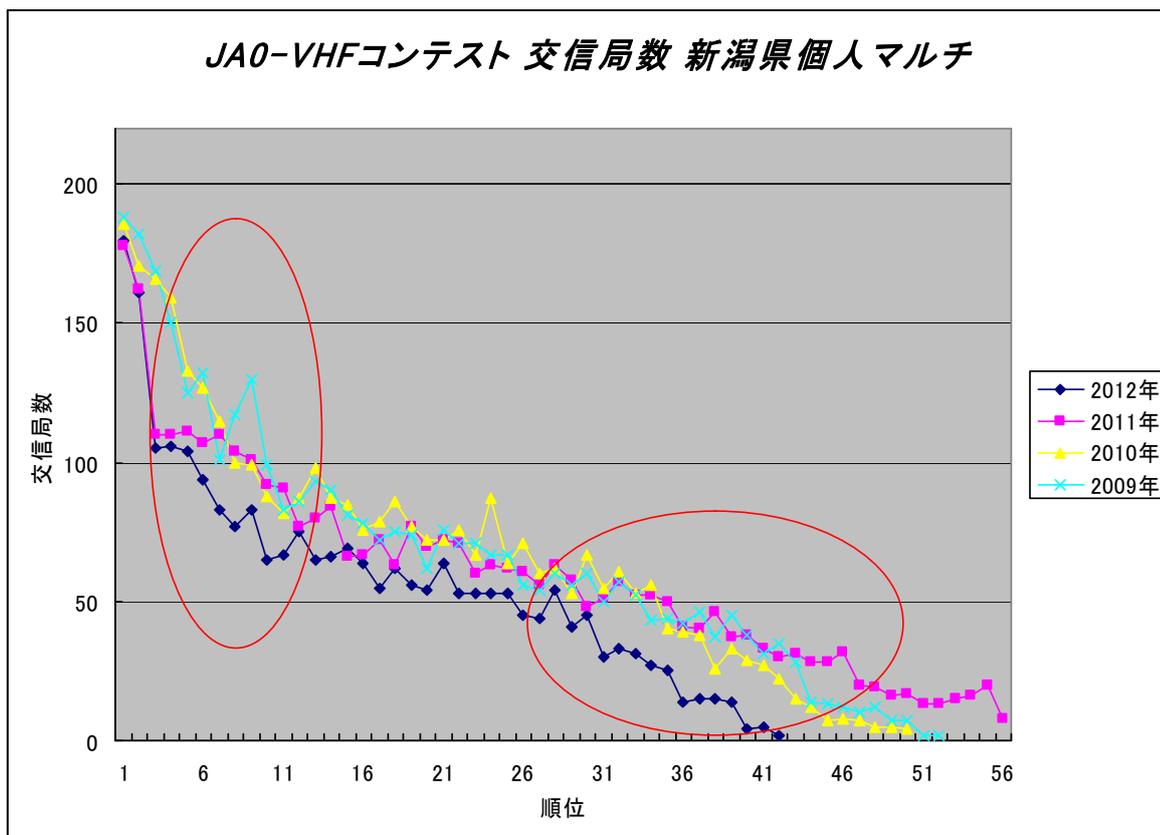
<<< JARL 信越地方本部 コンテスト委員会より >>>

今年もJA0-OSOならびにVHFコンテストにご参加いただき、ありがとうございました。委員会一同感謝申し上げます。皆様から寄せられているご意見について、コンテスト委員会の見解をお伝えいたします。

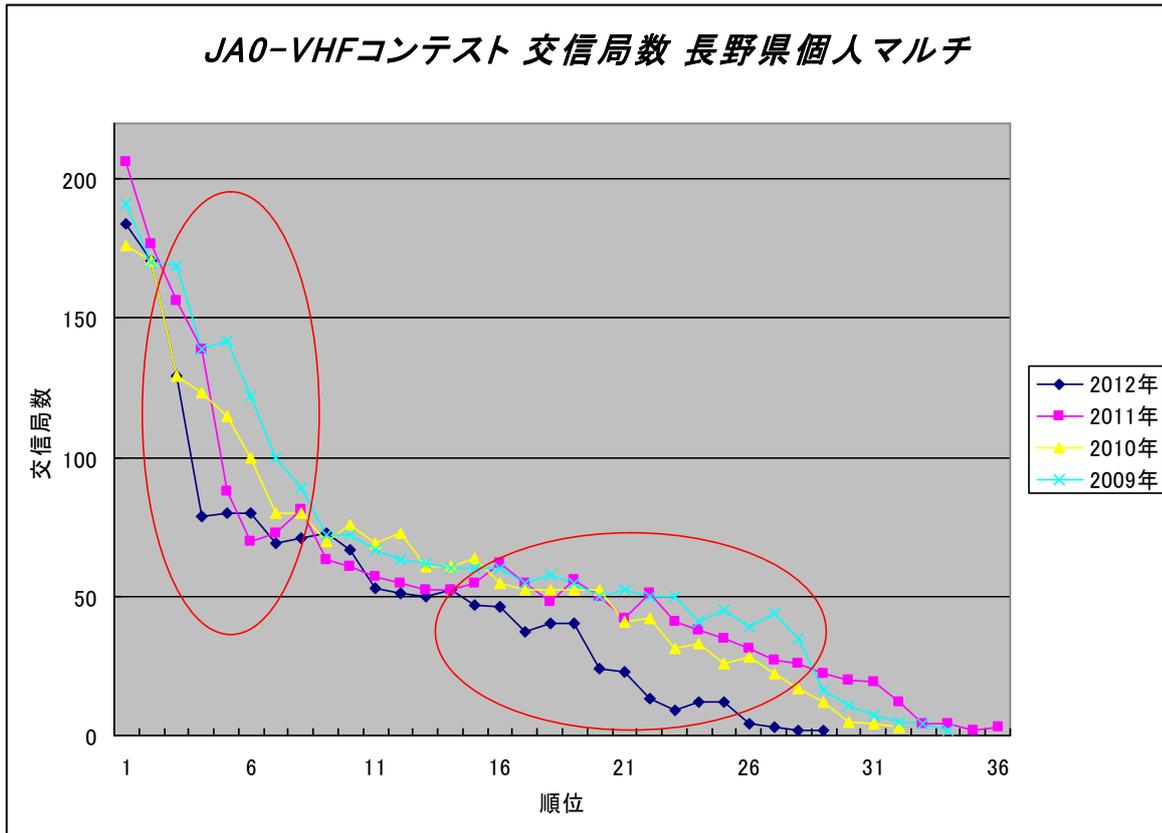
また、昨年度までの委員会からのコメントもぜひ再読お願いいたします。皆様からの御意見に対する回答が書かれている場合がありますので、重複する部分については一部省略させていただきます。

・参加局数の推移について

毎年のことですが「参加局が少ない」というご意見を沢山頂戴いたします。さて、それでは本当に参加局数は減少しているのでしょうか？



JA0-VHFコンテスト 交信局数 長野県個人マルチ



一例ですが、これはここ4年間のVHFコンテストのマルチバンド部門参加局の交信局数を、順位順に並べたものです。上位入賞局（ベスト3）の交信局数は、ここ数年ほとんど変化がありません。しかし、それ以下の順位を見ると、交信局数が激減していることがわかります。また、順位なかばから下位の局の交信局数も、特に今年は大幅にダウンしています。（赤マルで囲んだところに注目）

このことから推察されるのは、上位入賞局はコンテスト開催時間のほとんどフルタイムで交信しているのに対し、その他の多くの局が開催時間の一部分しか参加していないという状況です。フルタイムで運用していれば、聞こえてくるすべての参加局と交信できる、ということです。

結果的に「参加局が少ない」と感じられるのは事実ですが、参加している絶対局数は決して減少はしていません。

参加されている皆さんも、ぜひ都合をつけて、コンテスト開催時間のより多くをコンテストに割り当てられるよう、万障繰り合わせてご参加いただければと思います。また、ローカル局を誘って、ぜひ一緒にコンテストを楽しみ、共に盛り上げていただきたいと思います。

・OSOコンテストの採点について

OSOコンテストはその規約の性格上、書類内の一字一句を照合し、採点を行っています。その作業量は膨大なものであり、審査の効率化を図る上でも、書類提出の際には必ずその書式を厳守いただきますよう、お願いいたします。

特にパソコン処理されたログシートの中には、縦長になっていたり、行数が指定のものとは異なっていたりするものが見受けられます。コンテスト委員会が考える「指定の書式」とは、書類の縦横の向き、記入項目とその順序、行列数が一致しているものです。これが守られていない書類については「書類不備」として減点を行っています。（なお、以前は失格もしくはチェックログとの扱いを行っていた時期がありましたが、現在は委員会内部の合意の上、減点対象としております。「いっそのこと失格にしてほしい」というご意見もいただきましたが…）

基本は指定の「LOGBOOK」を使用していただくことですが、まったく同じ書式のコンテスト用サマリー、ログシートを当ホームページ内に用意してありますので、これをご利用いただきますようお願いいたします。

なお、ご自身の減点内容については、お問い合わせいただければいつでも回答差し上げますので、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

・VHFコンテストの001形式番号について

今年度は当方の不手際により、001形式の番号が規約に残ってしまいました。次年度からはVHFコンテストについて001形式のナンバーを省くことで検討しております。

・クラブ対抗への社団局の点数の加算について

現在はクラブ構成員（個人局）の得点を加算していますが、クラブ所有の社団局の点数は加算されないのか？というご意見をいただきました。規約はJARL主催コンテストに準じておりますが、JARLコンテスト規約を見ても明記はされていませんでした。

JARLコンテスト規定 第13条 3：

連盟の登録クラブの構成員がコンテスト（中略）に参加した場合には、その申し出により参加したコンテスト別、かつ、クラブごとにその得点を集計して順位を決定し（後略）

ただ、昭和57年から「個人局のみの得点で競われるようになった」という情報があり、それ以降変更は確認されておりませんので、個人局のみを加算することで継続したいと考えております。今後皆様のご意見をお聞きしながら、社団局の得点も加算するか検討を続けたいと思います。また、本件はJARLコンテスト委員会にも確認する予定です。

・来年度のOSO/VHFコンテストについて

来年度のOSOは第60回、VHFは第50回の記念すべき開催となります。当委員会ではこれに合わせて特別規約を設けるべく検討しております。各局からもご意見をいただきました。有難う御座います。

○OSOコンテスト

- ・電文賞 本コンテストの趣旨を示す優秀な電文を送信した局
- ・ハンディー機部門
- ・飛び賞

○VHFコンテスト

- ・電信部門 電信での交信のみによって得点を計算し、順位を決定する
- ・飛び賞

詳細については、正式決定後、発表させていただきます。

VHFについて、CWの得点5点とか、マルチを市区町村にするといったご意見もいただきましたが、CWの得点については他にも多くのご意見をいただいております。現状維持が妥当と考えている点、マルチはナンバーの設定や不公平感等の問題があり、申し訳ありませんが不採用とさせていただきます。ご了承ください。

また、これも来年度限定となりますが、信越地方本部と各県のコンテスト委員会で主催されているすべてのコンテストの合計点を競う、「管内コンテスト年間総合ランキング」も企画しております。皆様のアクティビティーが試されるものとなりますので、ぜひごぞってご参加のほどお願いいたします。結果の状況次第では、次年度以降の継続も考えております。

●特別企画： 信越電子申請啓発QSOパーティー

本年12月1日（土）～9日（日）に開催いたします。ユニークな規約で、楽しみながら各局に電子申請のメリットを伝えていけるよう考えました。規約はウェブに掲載いたしましたので、ご確認ください。

以上です。コンテスト委員会では、私たちとともにコンテスト運営にご協力していただける委員を募集しています。興味のある方はぜひご連絡ください。

2012年11月10日

文責：JROBAQ/西山 浩平（JARL 信越地方本部コンテスト委員長）